

平成25年4月19日

利用学習計画書

仙台市立連坊小路小学校

担当 第6学年 太田 秀俊

1 ねらい

縄文時代の人々の生活の様子を理解させる。

2 評価

復元された竪穴住居や発掘された土器などの具体的な資料をもとに、縄文のむらの人々の生活がどのようなものであったか理解できる。

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから古墳の国へ」

単元の学習のまとめとして、実際の住居や土器、様々な道具などの資料を見ることにより、学習してきた内容が定着するようにしたい。

4 事前指導

縄文時代の人々の食生活、住居、衣服などを絵や資料から調べたり、教師が用意した補助資料により、山内丸山遺跡から分かる人々の暮らしの様子について学習した。

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定

3グループに分かれ、館職員の説明を聞きながら学習（探検シートを利用）

（2）体験学習

土器づくり（100円のもの）

6 当日の交通手段

市営バス

7 事後指導

見学を行って分かったことや学習のまとめをレポートにまとめる。

平成25年5月15日

利用学習報告書

仙台市立連坊小路小学校
担当 第6学年 山本 香澄

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年5月7日(火)～5月10日(金)

※本校では高学年は教科担任制度を導入していますので、担当教員が各クラスの社会科の授業にて行いました。

(2) 主な内容

社会科の授業で事後指導を行いました。利用以前に学習した内容と、利用時に学習した内容とを合わせて「縄文時代の人々の生活について」と題して、学年の児童が全員、個人のレポートにまとめました。